

発達支援について

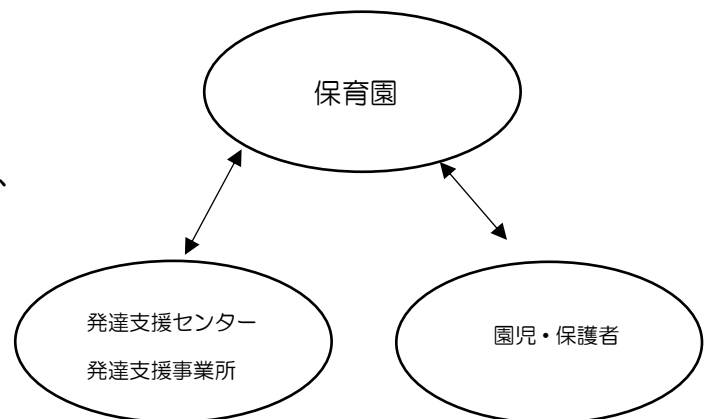
・児玉郡市の発達支援の取り組み

本庄市では2か所の発達支援センターがあります。保健センター内にある“さくらんぼ教室”は、3歳児までの利用です。いずみ保育所に隣接されている“スキップ”は4・5歳児までの利用です。どちらも年に3回位の通所となり、保健師を中心に作業療法士などの専門家がお子さんにあったプログラムを作成し活動を行いながら、子育てや保育のアドバイスを保護者や保育園の職員にしてくれます。しかし年々利用者が増えている為、市内近隣にある複数の民間の発達支援事業所（うめっこ・いとぐるま・コペルプラスなど）への通所も可能です。

・北泉保育園の発達支援の取り組み

保育園では、日々保育をしていく中で、お子さんに気になる行動が見られた場合には、保健師等に相談しています。“気になる行動”とは、“絵本などの読み聞かせの際に集中して見ることが出来ない”“体幹が弱く落ち着きがない”“年齢に合った言葉がけに対する理解力が弱い”“感情のコントロールが出来ずトラブルが多い”等の行動です。しかしながら、このような行動は御家庭での日常生活ではわかりづらく、保護者の方は気付にくいものです。そのような時は、職員から面談等でお話しをさせていただきます。

その際、保護者の方は驚いてしまう事が多いですが、お子さんの発達の問題に気づき、相談し対応していく事で、お子さんが集団生活で過ごしやすくなりますので、ご理解をいただければと思います。そして必要と判断した場合には、発達支援センターや発達支援事業所への通所も提案させていただきます。また、北泉保育園は全クラス複数担任での保育を行いながら、お子さんの発達に合わせた目標を作り、きめ細かな保育を心がけています。



・発達支援について理解して頂きたい事

お子さんの発達の問題について考えていく中で一番大切な事は、“困っているのはお子さん本人”という事を大人がしっかりと理解してあげる事です。『みんなと同じようにしたいけれど上手に出来ない』『先生が言っていることがわからない』『じっとしてられずに体が動いてしまう』『何をすればいいのかわからない』など、お子さんがどんな事で困っているのかを知り、適切な対応をしてあげる事で、お子さんは安心して問題も改善していきます。また、早期に発達の問題に気づく事も大切です。発達支援センターや発達支援事業所などで、専門家の先生から適切なアドバイスを頂き、保育園でも定期的に面談を行いながらお子さんの発達について理解を深めていく事で、お子さんが集団の中でもスムーズに生活が出来るようになります。また、発達が気になるお子さんに対して、「困る」「嫌だ」という否定的な考えを持ってしまう方もいるかもしれませんが、保育の中では、職員がそのお子さんに合った指導を行ったり優しい保育を行う事で、子ども達も真似をして、困っていたら助けてあげたり優しい言葉をかけてあげたりと、温かい人間関係を築いています。保護者の方にも発達に対して理解して頂き、子ども達と同じように暖かく見守って頂きますようお願いいたします。お子さんの発達について気になる事や困っている事がありましたら、いつでも担任にお話ししてください。